

令和7年度第2回やない市民活動センター評価委員会（要点筆記）

日 時：令和8年3月27日（木）午後1時30分から午後3時まで

場 所：みどりが丘図書館 スタジオ2

出席者：評価委員：弘田委員長、大野副委員長、川嶋委員、三戸委員、吉光委員

高崎委員、桧垣委員（木本委員欠席）

事務局：藤村 総合政策部長、守田センター長（地域づくり推進課長）、浅原課長補佐、

宮本主幹

相談員：浅海、佃

1 開会（午後13時30分）

令和7年度第2回やない市民活動センター評価委員会の開会

- ・藤村 総合政策部長あいさつ

令和7年度の運営について報告させていただきますので多様なご意見を頂戴できたらと思う。

2 委員長あいさつ

- ・弘田委員長あいさつ

センターがみどりが丘図書館に移転してずいぶん経つ。評価委員会のありかたについて皆さんともう一度考える良い機会だと思うのでよろしくお願ひしたい。

3 議事（委員長の進行による）

（1） 令和7年度やない市民活動センター運営状況報告について

事務局より資料p2（別紙p6、7）について説明

*新規登録については、今年に入り複数の相談があり、年度替わりの時期でもあることから、新年度になって改めて相談対応を行うことを補足。

*利用件数の数字の拾い方について、移転に伴い従前のカウントの仕方と異なっている。

相談記録様式（別途資料）を令和7年9月から運用を開始した。様式裏面にある区分を使い相談内容を記録し情報を共有する形をとっている。3月まではこの方法で記録を取るが、必ずしも4区分に分けることできない場合があり、新年度からは記録の残し方等については見直しを行いたい。

【質疑等】

・【委員】 市民活動の日を3, 6, 9の日から10, 20の日に変更したが現状はどうか。

→【事務局】 市民活動の日に合わせて、ポスター展示や市民活動講座やCANVAの体験講座など足を運んでいただく工夫も行っているが、なかなか集まってしまうことが難しい状況である。集まりやすくするために日時をあらかじめお知らせしているので、示し合わせておいでいただけたらと思う。

・【委員】 スタジオ稼働率が82%と高いのに、情報提供などが少ないのが気になる。交流テーブルの利用が0人の日もあると推察する。相談員が一人で待っているとかえって入りにくいのではないか。例えば一般の方も気軽に利用いただけるフリースペースとして開放したり、少額の有料体験を複数の団体が行う活動資金チャレンジの日としたりしてはどうか。

→【センター長】 ご意見として受け止め検討させていただく。

【事務局】 今年度までは10日、20日が土日にあたる場合は文化福祉会館で開催していたが、新年度からは休館日以外は基本的にはみどりが丘図書館で開催する。相談員の常駐の必要性についても検討していく。

・【委員】 スタジオの利用状況について登録団体の利用目的は把握されているか。

→【事務局】 [別紙資料の表について] 一般利用件数の中にセンター利用登録団体の利用も含まれている。詳細な割合はすぐにお答えできないが、利用登録団体独自のイベントやスタッフの会議で利用される場合等があると把握している。

・【委員】 自治会の委員会をスタジオで行いたいがなかなか予約が取れない。40人程度が入れる部屋がスタジオ2しかなく使いたいのになかなか予約が取れないジレンマがある。

→【委員長】 施設の仕様については今まで何度も意見があった。次の10年、20年後に向けた意見としてセンター（図書館）には受け止めていただければと思う。

(2) 令和7年度やない市民活動センターの活動について

事務局より資料p3～（別紙p8～17）について説明

*市民活動講座の第4回と第8回は、柳井市が包括連携協定を結んでいる周南公立大学のオンライン公開講座を放映した。PR不足もあり参加が少なかったが、なるべく幅広い分野の講座を提供して利用登録団体や一般の方にも参加していただける工夫をしてみたい。

【質疑等】

・【委員】9月13日トークセッションについてネットで調べたところ図書館のHPには載っていなかった。主催が地域づくり推進課ということで、市役所のHPを見たら掲載されていた。図書館を会場として行う催しであれば図書館のHPに載せるべきではないか。複合図書館である以上は連携を取って統一していただきたい。

→【事務局】市民活動センターのHPは市役所のHPの中にあるので、桧垣委員がご覧になったのは市民活動センターのページと察する。図書館のHPを運営する会社と市のHPを運営する会社が異なるため難しい部分もあるが、相互の情報を発信できるよう図書館と現在協議している。

【委員】図書館で開催する登録団体のイベントについて、一般の方が調べようとしても図書館のHPにはでていないという声も聞く。図書館を会場に開催するイベントは図書館のHPで調べられるようにしていただきたい。

→【総合政策部長】インスタグラムにはタイムリーに掲載するようにしている。主催が図書館だから、市民活動センターだからという分けはしていない。

【委員】区分があるように感じている。カレンダー形式で見せていただけるとわかりやすい。

【委員長】ご提案の通り変えていくご意志があると受け止めて良いのではないかと。

→【事務局】広報「やない」のみどりが丘図書館のイベントを紹介するコーナーには、現在図書館のイベントしか掲載していないが、センターの行事もあわせて掲載できるよう調整中である。HPも同様の考え方で図書館側と調整していきたいと考えている。

【委員】市民活動フェスタ2025について、柳井混声合唱団として出演した。観客が2人しかおらず、駐車場も空いていた。演奏・発表の部分をもう少し盛り上げてほしい。

【委員】フェスタでは出店（テントブース）などもあった。来場者は（図書館来館者含む）2000人ということだが、イベントへの関心が少ないのではないかと。これが何を意味するのか、検討していく必要があるのではないかと。

→【センター長】すぐにお答えは難しいのでご提案として受け止めさせていただき協議する。

【委員長】 検討していただいた後の報告をいただきたい。

→【センター長】 いただいた質問については各委員にお配りする。

→【事務局】 センターのアンケートを行っている。その結果をふまえてどうするかということになる。今年度のフェスタは図書館の屋外が使えるようになって初めてのフェスタであり、試みとして行った部分もある。フェスタのやり方について評価委員会も含め、あらためてご相談させていただきたい。

【委員】 フェスタの実行委員についても、再検討していただけたら。

【委員長】 登録団体のスタジオ利用率は増えているが、利用件数は減っている。お茶べり会など成長された団体が自主的に行ったイベントもあり、交流テーブルのあり方についても再検討する必要があるのではないか。評価委員会が出た意見について真摯に受け止めご返答いただきたい。

→【センター長】 市民活動の日の運用については、市民活動団体との話し合いの上で現在のこのやり方になっている。来場者が少ない現状をふまえてご意見をいただきながら内部で協議し改善を図りたい。

【委員長】 10日、20日についても図書館が使えない場合は前倒しや休止するなどしても良いのではないかと感じた。

→【センター長】 文福に移動することについても皆さんとの話し合いのうえで決定した。

【委員長】 承知している。当初は文福開催をしたいという意図があったが、利用者や相談員にご負担があるのであれば合わせて改善の余地があるのではないかと、今日これまでの話を聞いて感じたところである。

【委員】 評価委員会の議事録は取られているのか。今までフィードバックがなかったと思うが。

→【センター長】 要点筆記を保存している。欠席者については後日報告をしているが、出席者にはお送りしていない。

【委員】 次回開催までの期間が長いので、議事録を事前に読んでから次回参加したい。

→【事務局】 そういったご意見も承知している。今後は要点筆記と資料をHPに出そうと考えている。

【委員】 本日の議事録はいつ頃出される予定か。

→【事務局】 来月中にメールで届くようにしたいと思う。

【委員長】 郵送していただけないか。

→【事務局】 センターに来所いただきお渡しすることもできる。

【委員長】次回まで期間があり、年度替わりでもあるので郵送でお送りいただきたい。

→【センター長】HPでの情報公開は進めていく。

→【事務局】評価委員会の皆様への郵送もさせていただく。

【委員長】評価委員会のあり方についても再検討が必要ではないか。

【委員】以前は評価委員会が年3回あったときいているが、今年度は2回。なぜか。

→【センター長】今年度第1回は事業計画を皆さんに承認いただき、第2回（以前でいうところの第3回）は一年通しての実績報告をすとしてしている。従前の第2回はフェスタの反省会も含めて行っていたが、今回はアンケート結果が出たところで皆さんにご報告という形にさせていただきたい。

→【事務局】以前行っていた第2回ではフェスタの話ばかりになっていた。今年度はフェスタの反省についてもアンケートという形で確認ができるとし、期首・期末の2回とさせていただいた。

【委員長】フェスタに参加した方、参加しなかったが出来なかった方への反省会は別個にあるのか。

→【事務局】反省会をアンケートに代えるという形で行った。

【委員長】センターと登録団体との距離が離れて行っているように感じる。話し合いの不足によりフェスタのPR不足などが起こったのではないか。説明会と反省会は必ず行っていただきたい。

【委員】説明会はあったので反省会によって生の声を拾い上げる機会をいただきたい。

【委員】市議会でも評価委員会のありかたについて話があったように思う。

→【総合政策部長】市民活動センターの役割について十分に理解しているのか、議論する場が必要ではないかというご質問だったので、評価委員会の中でやっていただきたいとの答弁を市長が申し上げた。例えばフェスタについても、評価委員の皆さんも含め次回の評価委員会の中で議論が出来ればと考えている。

(3) やない市民活動センター年間行事实績について

事務局より資料p4～について説明

(4) 利用登録団体活動分野区分の見直しについて

事務局より資料p5～（別紙3 p.18）について説明

*従来特定非営利活動法人の法律第2条に準拠する形で20項目での区分けをしていたが、一般の方が

ら見たときに細かすぎてわかりにくい場合があったため、今回見直しを行った。

【質疑等】

【委員】 フェスタでは石垣の側でテントブースを行ったが人が来なかった。テントブースの配置は検討した方が良い。

【委員長】 次回の準備の説明会の時にご意見を上げられたら良いのではないかと。

【委員】 風が強すぎてやりづらかった。建物の反対側でやりたい。場所は検討していただきたい。

【委員】 フェスタについてはやってみてわかることもある。意見に対し都度、検討を重ねて、返答をいただければと思う。難しいのでやめるという考え方はしてほしくない。

【委員長】 フェスタのアンケート結果はいつわかるか。また次回の評価委員会はいつになるか。

【事務局】 交柳プラス5月号とともにアンケート結果はお送りする予定。評価委員会は5月末を予定している。

【委員長】 アンケート結果を踏まえ次回議論出来たら良いのではないかと。

【委員】 昨年県の社会福祉協議会が行っているちよるサポアカデミーに参加し、独居老人に対する対応を学んだ。市民活動と社教とうまく連携すればより活動が広がるのではないかと。

【委員】 いろいろな分野で活動している団体があるので、連携できればよいのではないかと。

【センター長】 ご意見・ご提案受け止めさせていただく。

6 その他

事務局より 人事異動について

閉会（午後15時00分）